

「57水害」「大和川大水害」

昭和57年、台風第10号が8月1日に紀伊半島南海上を北上、2日0時頃渥美半島に上陸、2日早朝に富山湾から日本海に進み、中国・四国地方の東部から東北地方にかけて大雨、近畿地方から東北地方にかけて暴風が吹き、全国での死者・行方不明者は95名となりました。

大和川水系では、この台風第10号とそれに続いて接近した低気圧に伴う豪雨により7月31日から8月3日にかけて各所で河川が氾濫する大水害が発生しました。これらはその後「57水害」や「大和川大水害」と呼ばれています。

王寺町でも、大和川の増水により、支流の葛下川が逆流・氾濫し、王寺駅周辺など市街地のほとんどが浸水しました。町内の被害は、家屋全壊66戸・半壊174戸、床上浸水1445戸、床下浸水272戸。災害救助法が適用される甚大な被害をこうむりました。

その後、王寺町内では葛下川の拡幅や堤防の改修、雨水貯留浸透施設や貯留池、内水の排水ポンプなどを整備し、水害への備えを行っています。

被害の様子 8月2日朝



←水没した駅前商店街



王寺町役場前交差点の様子 (8月2日朝)



8月2日午後町の様子



←水が引き始めた町内

快晴となった8月2日
午後の様子 ↓



8月2日復旧作業の様子

救援物資の運搬



清掃・復旧作業

8月3日再び水没した王寺町



役場屋上から～南駅前
広場の様子

塀を伝って移動する
人々



8月3日の様子

王寺駅前広場



散乱した家財、ゴミの山



撤去活動



消毒作業

